

(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏名	[REDACTED]
	住所	[REDACTED]
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	中野市田上牧ノ入地区 区長 [REDACTED] 様 隣地住民 [REDACTED] 様	
上記を説明対象とした理由	山岸区長に確認したところ市や県が許可を出せば区としては特に問題はないのでと言われたため区長にのみ説明した。 隣地本山様は工事場所隣なので直接説明した。工事日を暫定でチラシ付きで説明したが許可が下りたら再度ご連絡いたしますとご説明した。	
住民説明等の方法	[REDACTED] 様 電話での説明 隣地 [REDACTED] 様 直接説明	
実施日時	[REDACTED] 様 2021年10月22日 [REDACTED] 様 2021年10月18日	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	2戸	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
1	太陽光設置に関して県と市が許可を出せば特に反対することは致しません。	条例等に基づき県と市に申請し、承諾を得てから工事をするようにいたします。
2	工事をする際は周辺住民に迷惑をかけないように工事をする事	駐車車両に関しては敷地内に止めることし、道路には停車しない。道路上での作業の場合警察への申請と事前連絡をする。
3	連絡先等がわかるように、工事中は工事場所において事業者等がわかるよう看板を設置する事	元請、下請け業者がわかるよう看板の設置を致します。
4		

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

## 太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項目		配慮事項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	土地の造成は均し程度の必要最小限にとどめる計画とした
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成(シミュレーション)等の実施を検討する。	完成予想図の作成をした
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	敷地前に道路が走っているため道路境界から5mフェンスを後退させ、フェンス内にモジュールを設置した。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地内に管理用通路を設け、パネルを複数に分割した
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬季積雪が2mなのでパネル最低部分を2.0m、最高部分は3.0mとした
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	パネル角度は30度とし投影面積を少なくした。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	効率の良い角度でそろえて配置した  風速、積雪に耐えられる設計とした
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	傾斜角を30度として周囲建築物屋根と近い構造にしている
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	パネルは道路側をむいているため道路から裏側は見えない

項目		配慮事項		配慮した内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を 施す等、太陽光の反射を低減する対策を 行う。また、素材の結晶が目立たないもの を選択する。		表面に防眩加工が施され、結 晶が目立たないものを使用し ている
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩 度の目立たないものとする。		黒色を選択した
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。		アルミ素材でアルマイト処理 を施したものを使用した
		(2) 太陽電池モジュールと同 系色を用いる。		架台色と同等にすることによ り景観を損なわないよう配慮 した
付属設備	(1) フェンス等については、色彩、形態・意 匠に配慮する。		施設の全周にフェンスを設置 した。目立たないよう茶色 (RAL8017)にした。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させ ないよう、低減に努める。		新設は必要最低限の本数とし た	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧 器等の付属設備については、色彩等に配 慮する。		パワコンの色は白だが、パネ ル下部に設置して周囲から見 えにくい位置に設置すること で景観に配慮した	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発 揮できるよう、根巻きを行った苗などの 使用を検討するとともに、植栽間隔や苗 木の大きさに配慮する。		道路側からのパネルの存在感 を低減させるための意見を造 園屋さんに意見をもらい設計 した	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低 木性の樹種を避け、地域に適した植生と する。		寒さに強いイロハモミジを選 定した。	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地 に反射光の影響が懸念される場合は、配置 や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へ い措置について検討する。		反射光が影響される住宅もな く道路から 5m後退しており 植栽もする為影響は少ないと 考えられる	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を 行うなど、適切に維持管理を行い、景観の 保守に努める。		定期的な保守管理を行う	

なお、上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

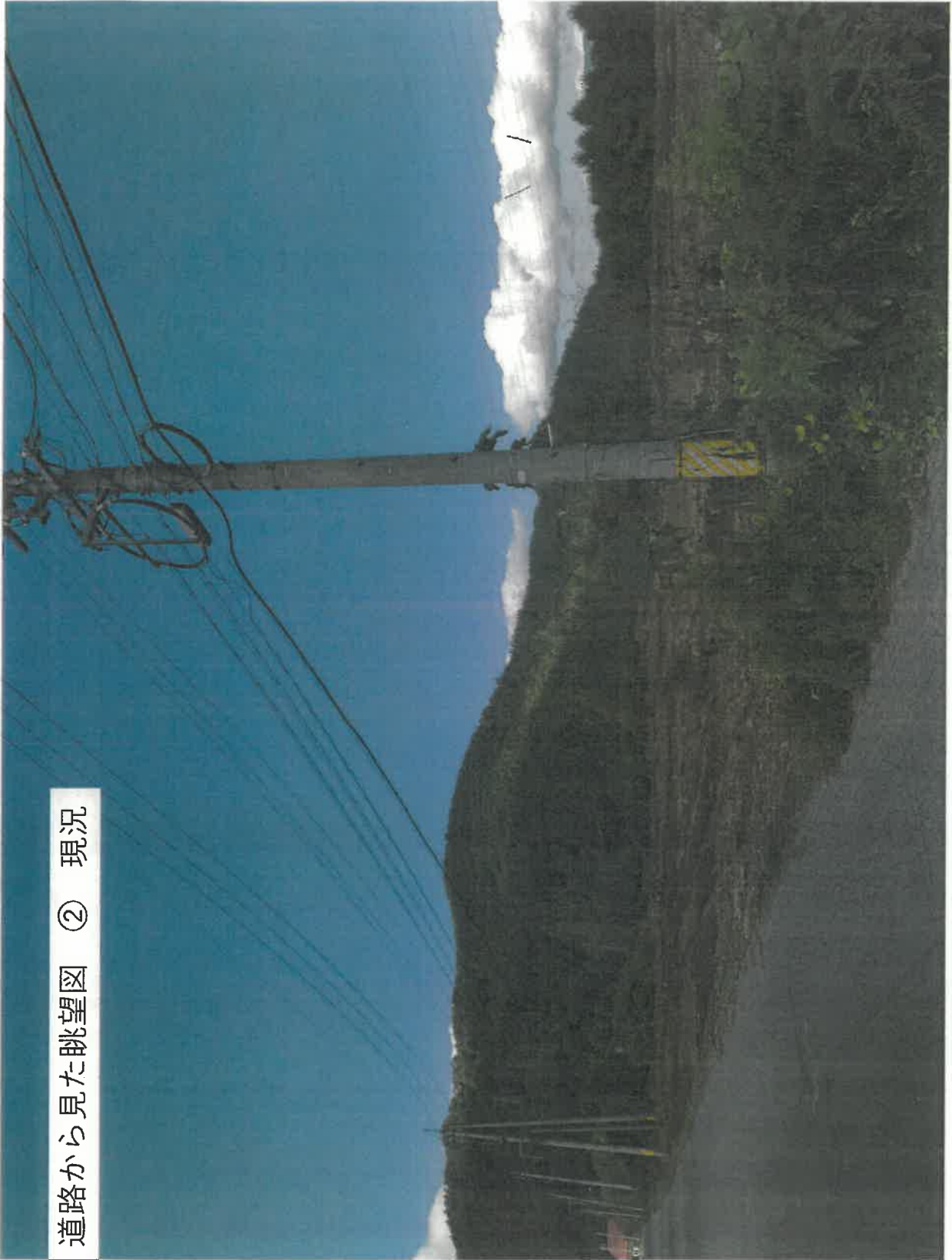
道路から見た眺望図 ① 現況



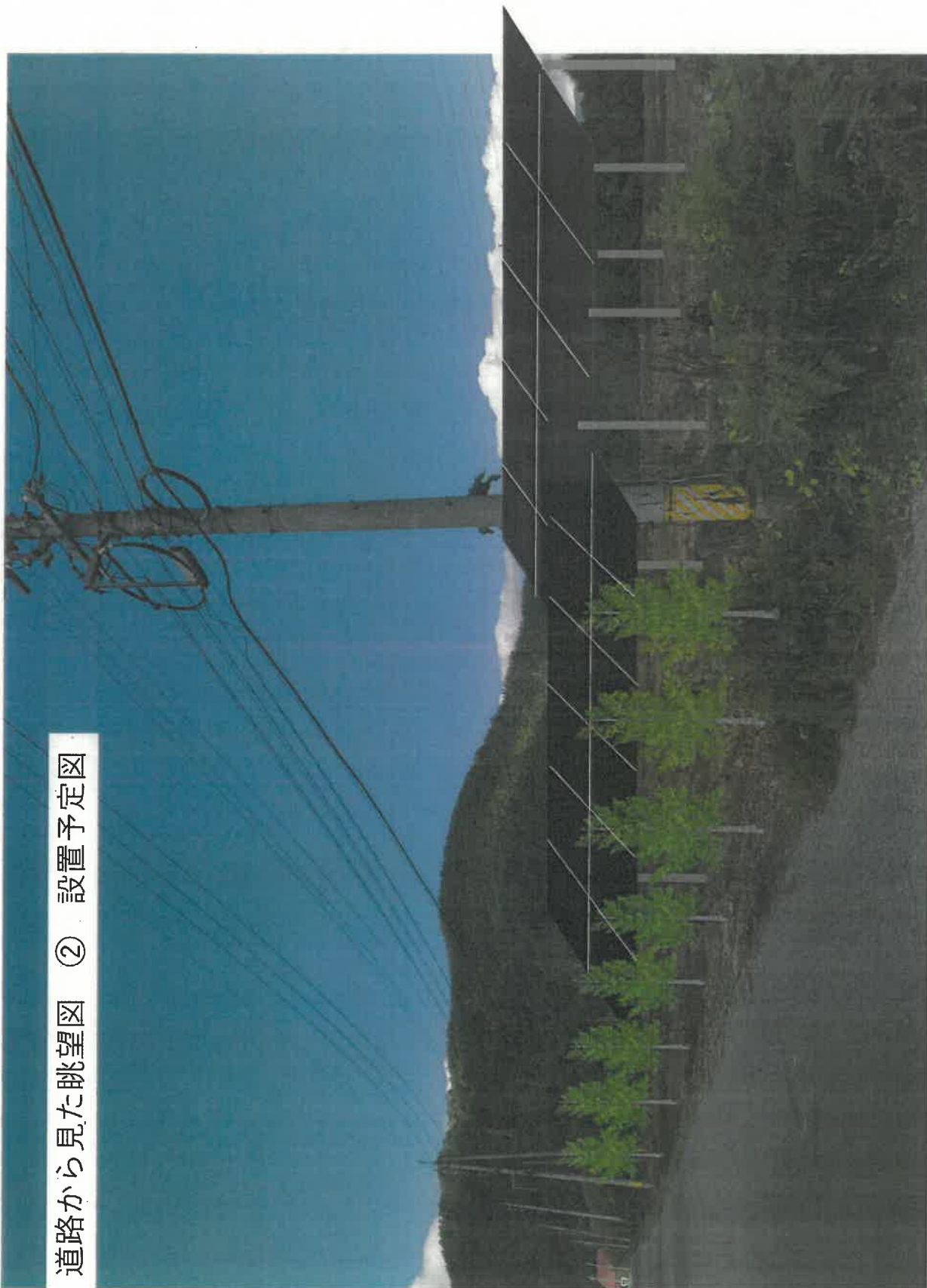
道路から見た眺望図 ① 設置予定図



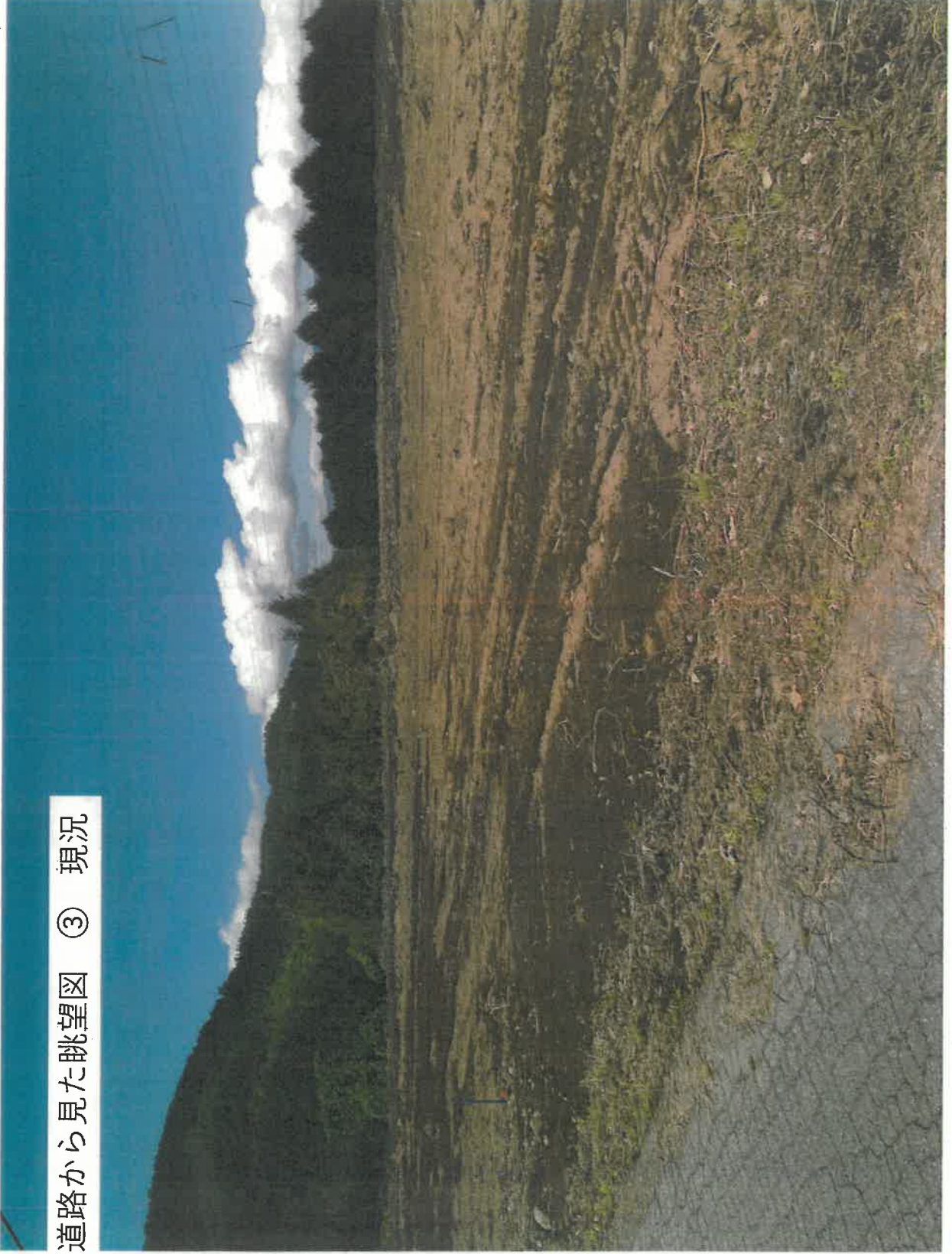
道路から見た眺望図 ② 現況



道路から見た眺望図 ② 設置予定図



道路から見た眺望図 ③ 現況

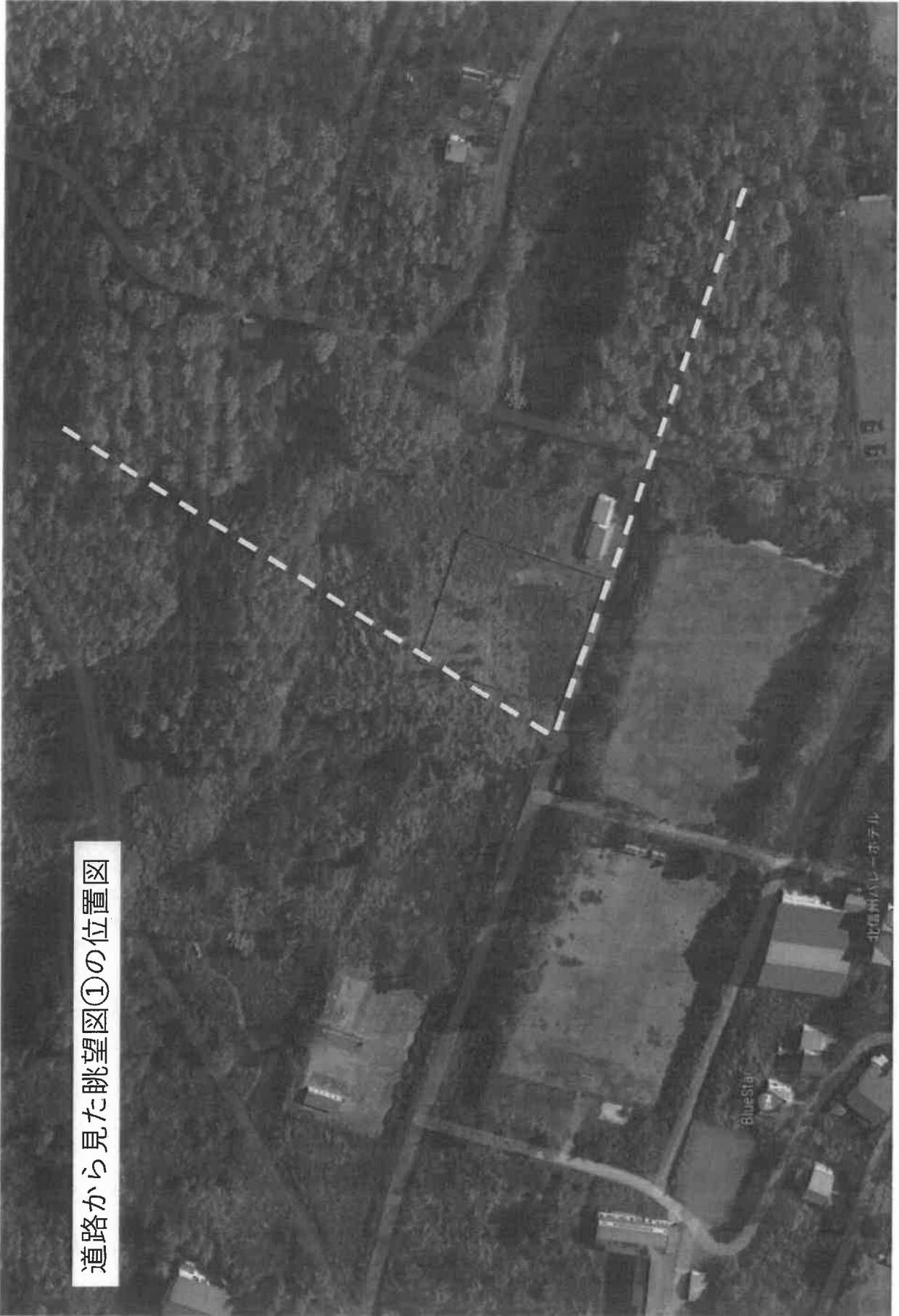




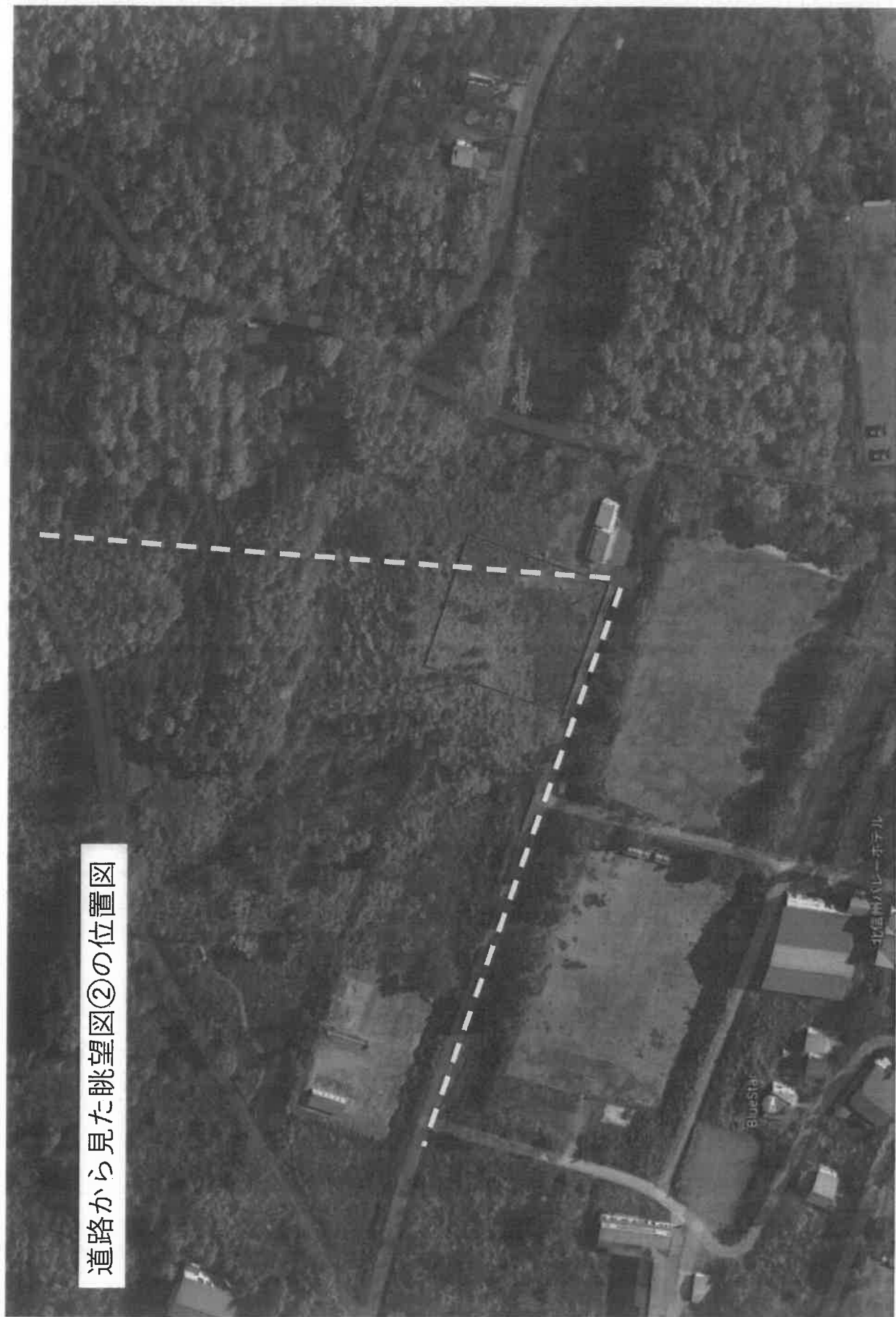
道路から見た眺望図 ③ 設置予定図



道路から見た眺望図①の位置図



道路から見た眺望図②の位置図



道路から見た眺望図③の位置図

